

不思議めがねを作ろう

1. 日時

2012年11月11日（日）10：00～12：00、13：30～16：00（午後からはかんたん工作教室）

2. 場所

博物館オリエンテーションルーム（ミュージアムショップ横）

3. 参加者数

例会 42名

かんたん工作教室 92名

4. テーマと工作内容

めがねのレンズに分光シートを取り付けた不思議めがねを作成しました。

めがねのフレームが印刷されたクラフト用紙を切り取り、レンズの部分に分光シートをはさんで糊付けして完成しました。めがねをかけてあかりを見ると虹の模様がたくさん見えます。

5. 実施報告

あかりを分光シートでかざしてみると光が虹色に分解されて見ることができます。これは、分光シートに縦横の十字に1cmあたり約2000本の細かい溝が刻まれていて、光が分光されて虹色に見えます。例会では、まず始めにあかりの歴史を紹介し、ろうそくの炎の光、白熱電球の光、蛍光灯の光を分光シートをかざしてそれぞれの光のスペクトルを観察しました。その後、赤や青、黄色、緑など色のついた電球でも同様に分光シートをかざしてそれぞれの見え方の違いを観察し、光の仕組みを学びました。

午後からは“かんたん工作教室”を行いました。お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。



工作風景。



完成！ポーズを決めてはいチーズ！